

（太宰府市）
市内観光地におけるバリアフリー
環境整備状況調査業務
報告書

NPO 法人バリアフリーネットワーク会議

2025 年 3 月

目次

1.事業の目的	2
2.調査の方法としてのモニターツアー	2
2.1 調査項目	
2.2 モニターツアー概要	
3.計画・コース・調査員募集	3
3.1 打ち合わせの概要	
4.モニターツアー(調査)の実施・様子	6
4.1 西鉄都府楼出発(鉄道アクセス)【身体】	
4.2 博多駅出発(バスアクセス)【視覚】【聴覚】	
4.3 福岡空港出発(介護タクシーアクセス)【知的】	
5.調査結果(施設等の評価)	9
5.1 観光地間の移動	
5.2 観光地内の移動	
5.3 大宰府政庁跡の評価	
5.4 坂本八幡宮の評価	
5.5 観世音寺・戒壇院の評価	
5.6 太宰府天満宮の評価	
5.7 竈門神社の評価	
5.8 飲食施設(中神茶屋)の評価	
6.調査結果まとめと改善にむけてのポイント	26

参考資料(別添)

- ・調査票
- ・写真(CD)

1.事業の目的

本業務は、すべての人が安心して本市を訪れ、観光を楽しむことができるように、地元の障がい者団体等と連携しながら、市内観光地におけるバリアフリー環境整備状況の調査を行い、障がい当事者とともに本市のバリアフリー観光における課題を抽出、検証することで、本市のバリアフリー観光の一層の推進を図ることを目的とする。

2. 調査の方法としてのモニターツアー

調査手法として、モニターツアーを用いた。また、調査項目およびモニターツアーの概要は下記の通りである。

2.1 調査項目

- ア トイレ(手すり、車イス回転スペース、ベビーベッド、オストメイト対応の有無等)
 - イ 駐車場(障がい者用駐車場、駐車場から入口までの案内図の有無等)
 - ウ 出入口・通路(段差、スロープ、点字ブロックの有無等)
 - エ バス停・駅・空港からのアクセス(経路の案内・地図、点字ブロック、音声案内の有無等)
 - オ その他必要と思われるもの
- ※バリアフリーの設備の確認はBF担当者が行い、障がい当事者は、その使用感や意見を頂き、アンケートは自由記述を中心とする。

2.2 モニターツアー概要

1)西鉄都府楼前駅出発(鉄道アクセス)【身体】

【旅行参加者】

障がい当事者、介助者、主任担当者、担当者、旅行コーディネーター各1名…合計5名

【旅行行程】

西鉄都府楼前駅(集合) ➡太宰府市内観光(まほろば号を利用) ➡西鉄太宰府駅(解散)

2)博多駅出発(バスアクセス)【視覚】【聴覚】

【旅行参加者】

障がい当事者2名、介助者1名、手話通訳者2名、主任担当者1名、担当者1名、旅行コーディネーター1名…合計8名

【旅行行程】

博多バスターミナル(集合) ➡太宰府ライナーバス「旅人」(乗車) ➡太宰府駅(下車)
➡太宰府市内観光(まほろば号を利用) ➡太宰府駅(解散)

3)福岡空港出発(介護タクシー)【知的】

【旅行参加者】

障がい当事者 1 名、介助者 1 名、担当者 2 名、旅行コーディネーター1 名、
介護タクシー事業者1名、タクシー事業者1名・・・7名

【旅行行程】

福岡空港(集合)➡介護タクシー(乗車)➡太宰府市内観光➡太宰府駅(解散)

3.計画・コース・調査員募集

大まかな計画・コース設定に関しては、太宰府市との協議を基に設定した。また、今回の調査内容および調査員の募集に関しては、地元の障害者団体である NPO 法人太宰府障害者団体協議会および太宰府市身体障害者福祉協会の全面的な協力を頂いた。

3.1 打ち合わせの概要

1)第一回打ち合わせ(初回概要説明)

日時:2024 年 12 月 13 日 13:30-15:00

場所:太宰府市スポーツ振興事務所

出席者:NPO 法人太宰府障害者団体協議会 森口忠彦理事長、藤井智子理事
太宰府市身体障害者福祉協会 金子史郎副会長
太宰府市観光推進課 田上様、山本様
ANA あきんど株式会社 松岡様
NPO 法人バリアフリーネットワーク会議 嶋田

2)第二回打ち合わせ(兼調査員説明会)

日時:2025 年 1 月 30 日 13:30-15:00

場所:太宰府市スポーツ振興事務所

出席者:NPO 法人太宰府障害者団体協議会 森口忠彦理事長、藤井智子理事
太宰府市身体障害者福祉協会 田中立夫会長、金子史郎副会長
太宰府市観光推進課 田上様、山本様
調査員および支援員の皆様
ANA あきんど株式会社 松岡様
NPO 法人バリアフリーネットワーク会議 嶋田

3)打ち合わせによる当初の計画からの変更点

調査員の負担軽減から【身体部門】太宰府市からのスタート、すべてのツアーの太宰府駅解散とした。できるだけ、種別を増やすことが望ましいとの意見があり、調査員の【高齢者】から【知的】への変更した。

4)第二回打ち合わせ(調査員説明会)の様子



5)調査員募集および説明会資料

・当日配布した説明会資料。

2025.1.21更新 モニターツアー調査員説明会資料 （市内観光地におけるバリアフリー調査員向け説明会資料） 1. 調査員人数 ・調査員（調査員を派遣する方）4名、調査員候補者（予定できる方）4名 ・調査員は部門ごとに、身体、視覚、聴覚、知的の各1名ずつ 2. 調査員の条件（下記のいずれも満たす方） ①障がい者の方（身体上または知的） ②社会福祉施設職員と二人以上の協議が望ましい ③本調査員制度で登録した企業等に在籍し、障がい者への関心と協力できる方 ④本調査の目的に合ったツアーを通して観光や活動の促進を図れる方 3. 調査の目的・手法 ・本調査は、モニターツアーを通して、旅行客を支援に繋ぎ、観光地の広域から、観光地内のバリアフリー状況を調査するものです。 ・モニターツアーを通して、観光地内のバリアフリー環境について、それぞれの障がいの立場から意見や改善を伺っていきます。 ・施設訪問で得る調査票（施設訪問シート）に記入します。 4. モニターツアー日程 ①2月1日（水）・・・【調査】 ②2月19日（水）・・・【調査と報告】 ③2月22日（水）・・・【調査】 5. 旅行日程 ・19年度版（福岡市版）19年度版（大牟田市版） ①【昼食】：観光地到着中（鉄道アクセス）：ユニバーサル施設ナビを参照 ②【昼食・観光】：観光地は周（バスアクセス） ③【昼食】：観光地到着中（介護リサーチアクセス） ※これは基本的な、それぞれの企業職員への事前調査を行う、お昼食・休憩時間は部門ごとに異なる。 6. 調査の費用 ・調査員（派遣員）・・・1日（計）15,000円 ・調査員候補者（調査員候補者）・・・1日（計）10,000円 <td data-bbox="788 1290 1145 1852"> 7. 旅行中の交通費および宿泊費 調査員および候補者は各自持ち、乗換乗車券で支給します。 8. 旅行保険の加入 こちらが決定する！旅行旅行に必ず加入します。保険料は旅行乗車券で徴収します。 【旅行保険についてはこちら】 【旅行保険についてはこちら】 ＜緊急連絡先・問い合わせ＞ 電話：090-4807-7070（担当：横山） メール：tk.hanada@kyushu.go.jp FAX：092-624-0000（受付時間：9時から17時） ※この情報は2025年1月21日現在のもので、変更される場合があります。 「障がい者に対するバリアフリー調査員制度の推進、観光客の安全確保」 福岡市観光局・観光課・観光課 </td>	7. 旅行中の交通費および宿泊費 調査員および候補者は各自持ち、乗換乗車券で支給します。 8. 旅行保険の加入 こちらが決定する！旅行旅行に必ず加入します。保険料は旅行乗車券で徴収します。 【旅行保険についてはこちら】 【旅行保険についてはこちら】 ＜緊急連絡先・問い合わせ＞ 電話：090-4807-7070（担当：横山） メール：tk.hanada@kyushu.go.jp FAX：092-624-0000（受付時間：9時から17時） ※この情報は2025年1月21日現在のもので、変更される場合があります。 「障がい者に対するバリアフリー調査員制度の推進、観光客の安全確保」 福岡市観光局・観光課・観光課
--	---

6)調査員および支援員一覧

・調査員および支援員は下記の通りである。

実施月日	障がい部門	区 分	氏 名
2/13	身体	調査対象者 支援者 手話通訳	和田 孝
2/19	視覚	調査対象者 支援者 手話通訳	秋田 頼子
2/19	視覚	調査対象者 支援者 手話通訳	穴井 やよい
2/19	聴覚	調査対象者 支援者 手話通訳	井上 由紀子
2/19	聴覚	調査対象者 支援者 手話通訳	楊井 はるみ
2/19	聴覚	調査対象者 支援者 手話通訳	蔵原 悦子
2/20	知的	調査対象者 支援者 手話通訳	山戸 和子
2/20	知的	調査対象者 支援者 手話通訳	藤井 智子

4.モニターツアー(調査)の実施・様子

4.1 西鉄都府楼前駅出発(鉄道アクセス)【身体】

1) ツアー詳細

■ご 旅 行 日 程 表		ANA		
<グループ名>太宰府 ①		2025年2月1日(木)		
<行 先> 鉄道アクセス利用		ANA あきんど(株)福岡支店		
<旅行期間> 2025年2月13日(木)		担当者:松岡弘晃		
<参加人数> 合計4名:				
<期間中> ANA MaoS				
日次	月日 (曜)	行 程		食事
1	2/13 (木)	■1日行程→ 集合場所: 西鉄都府楼前駅(下り改札口前) 9:45 ◆出発→ 西鉄福岡(天神) 駅 (9:15 発) ++ <普通> ++ (9:36 着) 都府楼前駅 西鉄都府楼前駅(上り)「まほろば号」内山行き (10:05 発) == <まほろば号> == (10:10 着) 太宰府政庁跡 区内にて1日観光開始 ～(移動)～ 太宰府天満宮 (11:10 発) == <まほろば号> == (11:27 着) 西鉄太宰府駅(移動) ～～ ～太宰府天満宮(参拝～昼食) (12:15～13:00「中神楽屋」) (13:27 発) == <まほろば号> == =(13:35 着) 内山～西門神社 (14:50 発) == <まほろば号> =(14:59 着) 西鉄太宰府駅 (自由行動開始)		朝: × 昼: ○ 夕: ×
		・まほろば号: 乗り降り補助、1日券購入 ・Universal MaoS 地図ナビ の活用 (一部区間にて) https://www.universal-maos.org/service-universal-maps-navigation ・西門神社にて「DINRUKI (けん引式お椅子補助器)」の試乗、Wheel (電動車いす) の試乗 ・鉄道の利用の決定は、行旅の前夜で決定しています		

+++ 電車 === バス ~~~ 各自

2)様子



<西鉄都府楼前駅>



<太宰府天満宮>

4.2 博多駅出発(バスアクセス)【視覚】【聴覚】

1) ツアー詳細

■ご 旅 行 日 程 表		ANA		
<グループ名>太宰府 ② 様		2025 年 2 月 1 日 祝 ANA あきんど (株) 福岡支店 担当者: 松岡弘晃		
<行 先> バスアクセス利用				
<旅行期間> 2025 年 2 月 19 日 (水)				
<参加人員> 合計 8 名 :				
日 次	月 日 (曜)	行 程		食 事
1	2/19 (水)	■ 09:00 集合 : 博多/スターミナルビル 1 階 (11 番のりば) 切符購入 博多バスターミナル (9:15 発) = <旅人> = (9:47 着) 大宰府政庁跡 ~ 坂本/橋本 (11:10 発) = <まほろば号> = 車内で 1 日旅行券を切符購入 == (11:27 着) 西蔵太宰府跡 ~ 大宰府天満宮 (参拝~昼食 12:15~13:00「中神料理」) (13:27 発) == <まほろば号> == (13:35 着) 内山 ~ 通門神社 (14:50 発) == <まほろば号> = (14:59 着) 西蔵太宰府跡 (白井行動機待機所)		朝 : × 昼 : ○ 夕 : ×

== バス、~~~ 各自

2) 様子



<大宰府政庁跡【視覚】>



<太宰府天満宮休憩所【視覚】>



<太宰府天満宮参道【聴覚】>



<大宰府政庁跡【聴覚】>

4.3 福岡空港出発(介護タクシーアクセス)【知的】

1) ツアー詳細

■ご 旅 行 日 程 表		ANA		
<グループ名> 太宰府 ③ 様		2025年2月1日作成 ANA あきんど(株) 福岡支店 担当: 松岡弘晃		
<行 先> 介護タクシーアクセス利用				
<旅行期間> 2025年2月20日(木)				
<参加人数> 合計5名				
日次	月日 (曜)	行 程		食事
1	2/20 (木)	■ 10:00 集合: 福岡国際空港ターミナルビル 1F「福岡空港しょうがい者・こころいい観光案内所」 福岡空港 (10:15) = <都市高速> = 水城IC (水産部車窓) = (10:55) 坂本八幡宮 (11:20) = = (車窓のみ) 大宰府政庁跡 = (11:40) 観世音寺 ~ (移動) ~ 成雲寺(12:20) = = (12:50) 太宰府天満宮; 参拝 ~ 昼食「中神料理」(13:20-14:10) ~ (移動) ~ 参道散策(14:45) = = (15:20) 道明神社 (16:00) = (16:40) 西蔵太宰南泉 (解散)		朝: × 昼: ○ 夕: ×

== タクシー ~~~ 各自

2) 様子



<左:坂本八幡宮、右:福岡空港しょうがい者・こころいい者観光案内所>

※元々車いすの利用は想定していなかったが、当日調査員の方の不調により、車いすを利用したのツアーとなった。

5.調査結果(施設等の評価)

5.1 観光地間の移動

バスアクセスには、少し不安を感じるとの評価があった。障がい者にとって、介護タクシーは、不安なく移動できる手段であることが改めてわかった。高速バスの段差は、障がいを問わず困難と感じる方が多い。旅人のバリアフリー化やバスセンターの整列(待ち方)に関しては課題があると言ってよいであろう。

①バスアクセス(高速バス旅人)の評価

不便や困難

少し感じた(視覚、聴覚、知的)

「バスに乗る時に段差が大きいので大変」(視覚)

「バスセンターの案内係に、あっち、こっち言われてもわからない」(視覚)

「お金の支払い方法のアナウンスはあったが、電光掲示板には表示されていなかった」(聴覚)

「バスの乗り降り時、高さがあって、困った」(知的)

改善点・意見

「ステップ式階段もあればと思う。」(視覚)

「バスセンターの案内係に対して身体障害者に関心を寄せてもらい、研修等を行ってほしい。」(視覚)

②鉄道アクセス(西鉄電車)の評価

不便や困難

どちらでもない(聴覚)

改善点・意見

「西鉄電車は電光掲示板があり、降りる時目的地の駅名が表示されるのでアナウンスが聞き取れなくてもスムーズに降車できる。」(聴覚)

③タクシーアクセス(介護タクシー)の評価

不便や困難

どちらでもない(聴覚)

改善点・意見

「運転手さんが色々話をしてくれて楽しかった。車いすのままはじめて介護タクシーにのっていい経験をした。」(知的)

5.2 観光地内の移動

観光地内の移動に関して、やはり、小さな段差や混雑そして、点字ブロックなどまだまだ改善の余地が十分にあると思われる。まほろば号の後部座席の段差などの指摘もあった。

①観光地内の移動の評価

不便や困難

どちらでもない。(身体)

少し感じた。(視覚)(聴覚)(知的)

「目的地までに傾斜が強いところで車いすが倒れそうになる。道路の境目等、1, 2センチ程度の段差があり、つまずくことがあった。平坦な経路を選ぶと遠回りになる。」(身体)

「点字ブロックが少ない。方向・指示の案内表示が欲しい」(視覚)

「観光地の為、バスの中、観光地内(太宰府天満宮)が混雑して、障がい者は段差や傾斜のあるところが見つらい時があり、観光客が多い時はあるくのも大変だと感じました。」(聴覚)

「段差や道の移動が少し怖かった。人が一杯いるところに車がきたとき、危ないと思った。」(知的)

改善点・意見

「各所の観光地で車いすでも動きやすくなるように取り組みがなされている。活動的な人なら行けそうだと思う。店の受入れはよかった。」(身体)

「バス停にベンチが有り助かった」(視覚)

「段差や坂道が少なくなしてほしい。」(知的)

②「まほろば号」の評価

不便や困難

少し感じた(視覚、聴覚)

「1日乗車券3回乗ったが300円なので利用しなかった。障害者割引はない」(視覚)

「まほろば号のうしろの席から前に移動する時に段差があり、躓き易かった。」(聴覚)

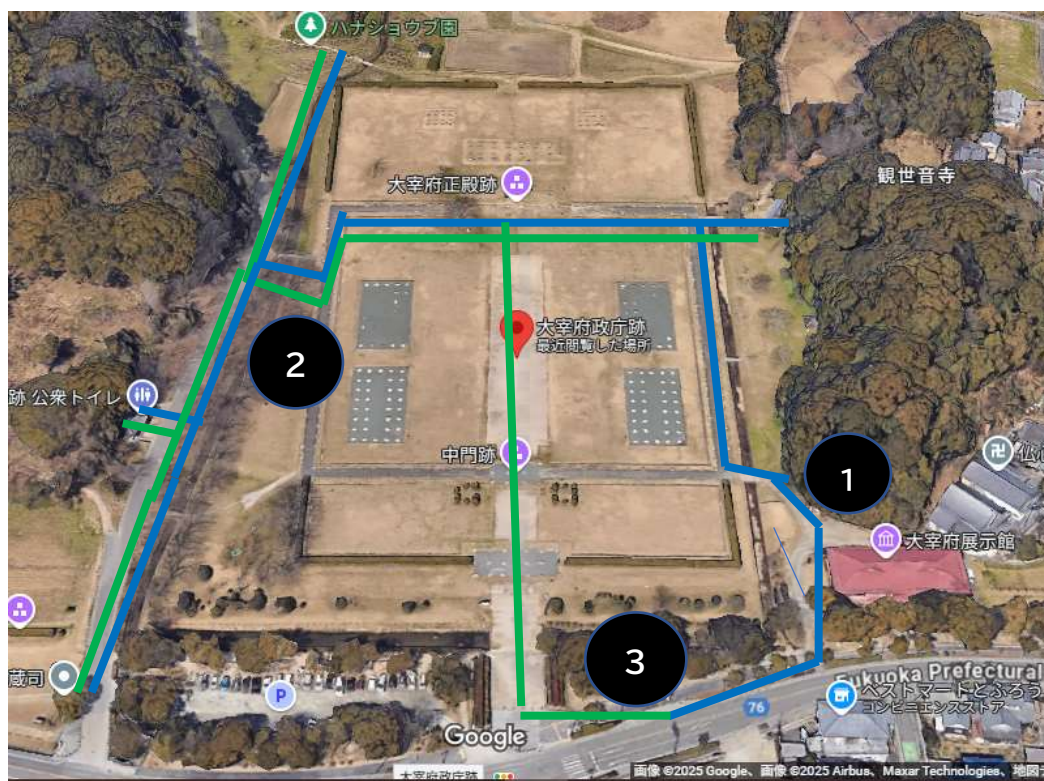
改善点・意見

「(1日乗車券が)300円でよいのだろうか?」(視覚)

「まほろば号内では混雑してない時は前の電光掲示板を見れば行先や金額がはっきりみやすく表示されていた。まほろば号のうしろの方の段差を少し小さい段差にしてほしい。」(聴覚)

5.3 大宰府政庁跡の評価

敷地内の移動に関して、とりわけ車いすユーザーにとっては困難な場所があった。全体的に案内板がやや不足しており、はじめて来られる方にとってはトイレの場所などがわかりづらい。



< 史跡の全体写真 google より、青線:身体、緑線:視覚・聴覚のルート >

不便や困難

敷地内移動に関して少し感じた。(身体)

全体的に少し感じた。(視覚)

敷地内のトイレに関して少し感じた。(聴覚)

「地面にタイヤがとられて動きにくい。段差、傾斜が強く車いすから落ちそうになる。日光の照り返しが強い。風が強い。どこから入って、どこからでればいいかわかりにくい。」(身体)

「敷地内のデコボコが多くて歩きにくい」(視覚)

「敷地内のトイレの場所がわかりにくく、表示がなかったが、史跡の為表示板(トイレ→)や看板は景観を損なうために設置されなかったのか？」(聴覚)

改善点・意見

「正面入り口、車いすでのルートを示して頂きたい。トイレの横に車いす使用者用の駐車スペースがあるのが良い。」（身体）

「階段の手すりがあったらと思う。多目的トイレ有りよかった。清掃もされていた。」（視覚）

「「トイレ」の表示の設置。敷地内はゴミが散乱してなくてきれいに清掃されて、トイレも清掃されて入りやすかった。」（聴覚）

①課題1＜案内板に関して＞

正面は入り口からのアプローチは、階段があり、車いすユーザーが一人で進むことはできない。正面から各箇所にバリアフリールートやトイレの案内版を設置する必要があると思われる。また、トイレ表示にバリアフリートイレのアイコン等がなく、この案内板だとそういったトイレがないと誤解される方もいる。バリアフリートイレの設備を整えても、こうした案内や情報発信が不十分だと設備の利用に結びつかないことがあるので注意が必要である。



＜史跡内の案内板:全体図①＞

②課題2＜史跡内の移動に関して＞

案内板上ではわからないが、随所に高低差や段差がある個所があり、車いすユーザーが通行できない、かなり通行しにくい場所がある。こうした場所は改善の余地がある。とりわけ、政庁跡から坂本八幡宮に向かうための橋前後の傾斜は角度があり、通行もほとんどできない。（一般の方はそのまま行くことができるが、車いすユーザーは入り口付近までもどって大回りしなければならない。）



<史跡内の傾斜:全体図②>

③課題3<史跡へのアクセスに関して>

大宰府政庁跡バス停の道路と歩道との段差の写真である。一見ななめで十分に通行可能なように思えるが、傾斜が強すぎて、車いすユーザーにとっては利用しづらい。結果として、傾斜を施したにも関わらず段差がある状態とほとんど変わらず、介助等が必要になってしまう。こうした傾斜等を設置する際は、障がい者等の意見を十分に反映させることが大事である。



<史跡バス停:全体図③>

5.4 坂本八幡宮の評価

大宰府政庁跡から坂本八幡宮までの移動に関して、車道と歩道の区別がないことは、多くの障がい者にとって困難を感じるものであった。また、正面入り口は階段となっているが、左奥よりバリアフリールートがあることが明示されておらず、初めて来られた方はわからない可能性がある。



<坂本八幡宮付近の全体写真 google より青線:身体、紫線:知的、緑線:視覚・聴覚のルート>

不便や困難

敷地内の移動に関して少し感じた。(身体)(聴覚)

全体的に少し感じた。(視覚)(知的)

「バス停から坂本八幡宮まで坂が続く。横がスロープ状で、そこから入っていけるとはわかりにくい。」(身体)

「目的地までの案内ない。政庁あとからの移動は困難。さい銭箱の場所がわからない」(視覚)

「バス停から坂本神社までの道路の幅が少し狭く後ろから車が来ても車の音が聞こえず道の端に寄るのが遅くなり危ない。」(聴覚)

「正面から入れなかったんで、裏から回ったけど、がたがた道で困った。」(知的)

「お知らせの字が良くよめなかったです。」(知的)

改善点・意見

「階段移動が難しい方はこちら等の案内があれば良い。」（身体）

「路の幅が狭いので「車はスピードを出さないでください」の注意表示があれば良いと思った。」（聴覚）

「神社近くのトイレは表示もはっきりしてわかりやすかった。」（聴覚）

①課題1＜バリアフリールート of 標記に関して＞

坂本八幡宮の正面入り口は段差がある。バリアフリールートが左側にあることを明示する表示などを出す必要がある。参拝をあきらめる方もでてくる可能性がある。



＜坂本八幡宮正面および左側バリアフリールート:全体図①＞

②課題2＜坂本八幡宮へのアクセスに関して＞

車道と歩道が分離されておらず、障がい者だけでなく、小さなお子さん連れなども通行するのにストレスがかかる。



＜坂本八幡宮へ続く道:全体図②＞

③課題3 <さい銭箱や案内板の表示に関して>

さい銭箱の入り口に様々なお知らせが貼ってあり分かりにくい。また、拝礼の作法に関してはひらがな表記があるが、それ以外のものにはひらがな表記がなくわかりづらい。



<坂本八幡宮さい銭箱:全体図③>

5.5 観世音寺・戒壇院の評価

このエリアは、単独の車いすユーザーにとっては移動は困難である。しかしながら、よくなれた介助者がいれば移動も可能である。全体の案内板が小さくわかりにくい。観世音寺の案内板には、一部ひらがなによる表記もある。大宰府政庁跡と同様、歴史的価値があり、その当時の雰囲気を感じさせるすばらしい場所であるが、それに見合った案内やバリアフリー化が必要と思われる。



<観世音寺・戒壇院付近の全体写真 google より青線:知的>

不便や困難

敷地内の移動に関して少し感じた。(知的)

「デコボコ道や坂道が多かった。」(知的)

改善点・意見

「久しぶりにいけてよかったです。空気が気持ちよかったです。」(知的)

①課題1＜案内板の表示、バリアフリールートについて＞

案内板の地図が小さくまた、分かりにくい場所にある。入口付近に設置されることが望ましい。またバリアフリールートの整備が必要である。



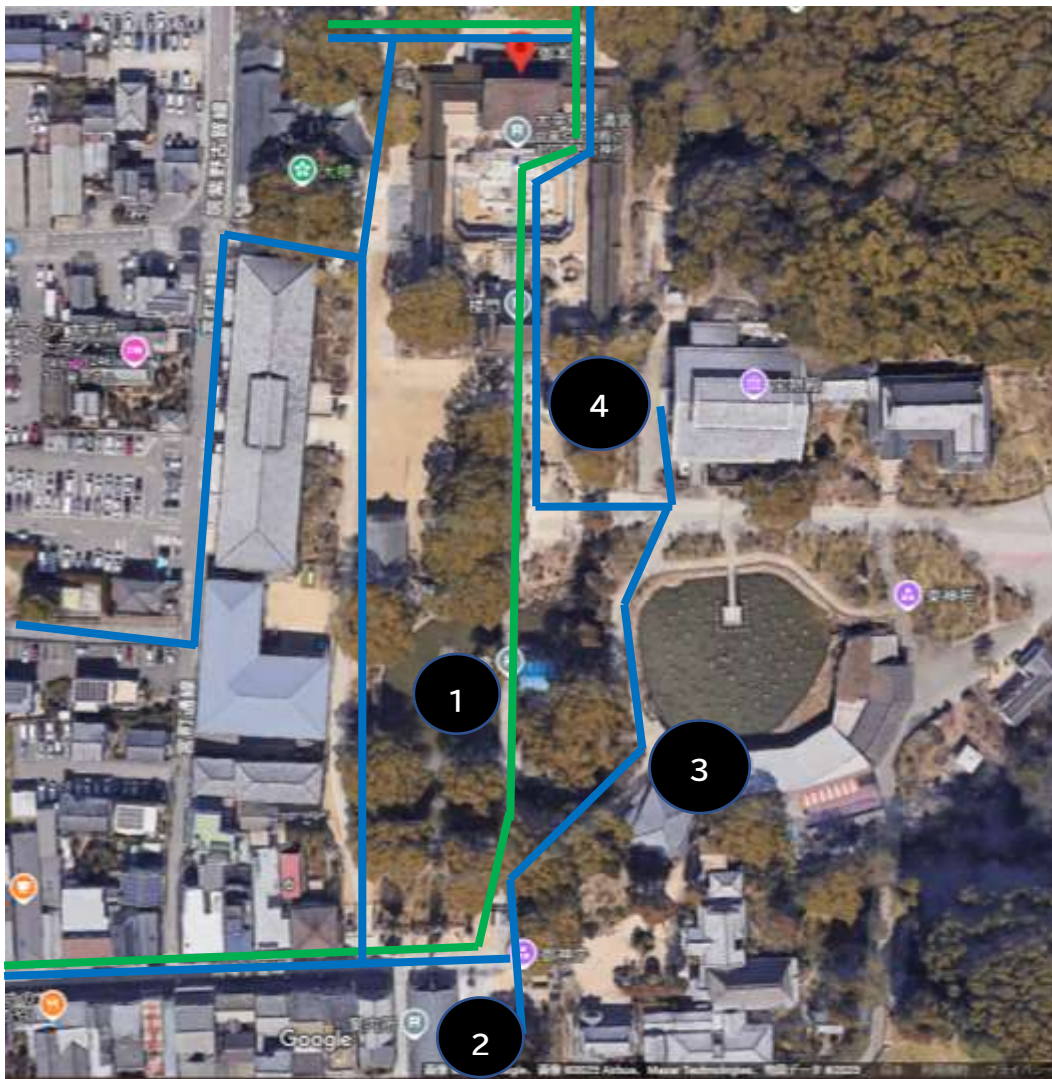
<ちいさな案内板:トイレ横に設置:全体図①>



<階段を迂回する道のバリア:全体図②>

5.6 太宰府天満宮の評価

太宰府天満宮は、太宰府市のみならず福岡県も代表する観光地であり、調査当日は好天にも恵まれ、オフシーズンの平日にも関わらず、混雑していた。障がいがある方にとって混雑時の移動には、ストレスがかかることがわかった。



<太宰府天満宮付近の全体写真 google より青線:身体・知的、緑線:視覚・聴覚のルート>

不便や困難

敷地内トイレおよび移動に関してどちらともいえない。(身体)

全体的に少し感じた。(視覚)

敷地内トイレ、施設、避難経路に関して少し感じた。(聴覚)

敷地内の移動に関して少し感じた。(知的)

「車いすマークがトイレになかった。中に入らないとわからない。」(身体)

「目立たない段差がありつまずいた。」(身体)

「スロープの形状が上りにくいものがあった。」(身体)

「案内表示が少ないあまりにも混雑しすぎて点字があっても見えないと思う」
(視覚)

「災害時の避難経路がわからなかった。」(聴覚)

「人とぶつからないように歩くのが少し困った。」(知的)

改善点・意見

「手打ち水に届きやすくして頂きたい。」(身体)

観光案内所で車いすルートは一つだけでなく、別ルートも提案があればいいと思った。(本殿だけしか説明していない。)(身体)

「移動支援・手話支援等での案内をお願いできるか?と案内所で尋ねてみた。

当日対応はできないが 3 日前までホームページにて申し込むことができる。」(視覚)

「トイレの表示が分かりやすく、トイレもきれいだった。」(聴覚)

「お守り等の販売所に書記用具を準備してほしい。」(聴覚)

「太宰府天満宮宝物殿のビデオ(映像)に字幕をつけてほしい。」(聴覚)

「仮のお参りをすることにはじめて行けた。屋根がすごかった。」(知的)

<課題>

①課題1<混雑回避のための複数ルートについて>

太宰府天満宮は、平日でも混雑している。混雑をわざわざ避けて旅行日程を立てる傾向がある障がい者や高齢者にとって、混雑はストレスがかかるものである。参拝者数に応じたバリアフリールートの表示などが必要である。



<平日にも関わらず混雑する太鼓橋付近(左):全体図①、仮殿付近(右)>

②課題2<バリアフリートイレの表示>

バリアフリートイレの外には表示がないが、実際はバリアフリートイレがある。表示がわかりやすいところがないと有効に活用されない恐れがある。



<天満宮正面入り口付近のトイレ外観(左)、トイレの設備(右):全体図②>

③課題 3<バリアフリールートにあるバリア>

正面入り口から本殿までの太鼓橋を避けるための(本殿向かって)右側のバリアフリールートがあるが、傾斜が急すぎて一人ではほとんど登ることができない。また老々介護等で高齢の介護では、車いすを最後まで押しきれない可能性がある。



<太鼓橋を右側に迂回するルートの傾斜>:全体図③>

④課題4<手水の工夫とそのバリア>

混雑状況やそれに伴う衛生面にあわせて手水を工夫されているが、その工夫に車いすユーザー等の視点が入っておらず、車いすのままでは使用しにくい。車いすを斜めにして、かなりの前傾姿勢をとるとなんとか届く。



<手水の様子>:全体図④>

5.7 竈門神社の評価

階段での上り下りが難しいと感じる方が多くいた。手すりが揃っていないことや、障害者用駐車場やスロープが整備されているが案内表示がないなど情報発信が不足していることも課題である。



<竈門神社付近の全体写真 google より青線:身体、紫線:知的、緑線:視覚・聴覚のルート>

不便や困難

敷地内の移動と坂の上り下りに関して少し感じた。(身体)

敷地内の移動とトイレ、坂の上り下りに関して少し感じた。(視覚)

坂の上り下りに関して少し感じた(聴覚)

ほとんどない。(知的)

「介助者も困難な急な坂の上り下りは危険が伴うと思われる。」(身体)

「登っていけるかわかりにくい。」(身体)

「階段の歩幅の差が有り、歩きにくい」(視覚)

「スロープが有るが、案内表示がない」(視覚)

「階段の手すりの設置が統一してなく、真ん中だけとか、左右とかバラバラだった。」(聴覚)

改善点・意見

- 「登ってしまえば、景色も良く明るく過ごしやすい。」(身体)
- 「路面がしまっていて車いすでも動き易い。」(身体)
- 「トイレ多目的あり清掃もされていた。」(視覚)
- 「トイレに関して、使用後の流しレバー、ペーパーの位置、手洗い、ドアの(位置)、全国いっしょだったらよいと思う。」(視覚)
- 「神社の本殿までの石段の上り下りが大変だった。」(聴覚)
- 「手すりの設置を統一した位置にお願いしたい。」(聴覚)
- 「説明してくれる人いたらよかった。」(知的)
- 「節分の鬼とおたふくをくぐったのがよかった。」(知的)

<課題>

①課題1<バリアフリールートについて>

正面の階段以外に右(敷地内の道)、および左(一般道)から迂回して上ることができるが、その表示がなく、はじめて来られた方にはわかりにくい。HPにもこのことは記載されていない。視覚部門の調査員は、階段を下ることが難しいことから、正面左の一般道を下った。



<竈門神社の左手から下る様子:全体図①>

右手のバリアフリールートは、電動車いすでも上ることができた。また、JINRIKI を利用して車いすユーザーでも上ることができた。



<JINRIKI 使用の様子(左)、電動車いす WHILL 使用の様子:全体図②>

5.8 飲食施設(中神茶屋)の評価

入口付近にわずかな段差があったり、茶屋までの道が砂利道等であるため、アクセスの部分に困難を感じる部分があった。天満宮の敷地内という利便性の高い場所であるので、この辺りは改善されるとなおよい。



<中神茶屋付近の全体写真 google より青線:身体・知的・視覚・聴覚のルート>

不便や困難

車いすの通路についてほとんどない。(身体)

待ち時間に関して少し感じた。(視覚)

ほとんどない。(聴覚)

車いすの通路について少し感じた。(知的)

「本殿から中神茶屋までの道が雨だとぬかるみ、凹凸道なので動きにくい。」

(身体)

「茶屋の入り口に1 cm 程度の段がありつまずいた。」(身体)

「車いすではとおりにくかった。」(知的)

「ほかのお客さんが騒いで少しうるさかった。」(知的)

改善点・意見

「車いすが楽に通れる幅のコンクリート通路があれば有難い。」(身体)



<中神茶屋へのアクセス(左):全体図①、入り口の段差(右):全体図②>

6. 調査結果まとめと改善にむけてのポイント

この度のルートに関しては、概ねバリアフリー化されており、観光用のバリアフリーツアーとして推奨できるものである。しかしながら、改善の余地も十分にある。バリアフリー化については、ハード整備には時間を要することからソフトな部分での整備を中心に段階的に進めていくことが必要である。また、設計段階から、改善することを織り込んで、少しずつより良くしていく、いわゆる「スパイラルアップ」の考え方が肝要である。

1) バリアフリー情報の発信

① HP や専用 WEB サイトなどを通じた情報発信が必要

具体的な施設の情報だけでなく、障がい者が旅行をしている写真等を掲載することでより魅力的な観光地として情報発信できる。ユニバーサル地図ナビなどの活用は、情報発信の点ですぐれている。

② 案内板の設置

今回の観光スポットの多くで案内板が不十分である点があり、バリアフリールートやバリアフリー設備をピクトグラム等で示した案内板に改善すれば、より安全で快適にそれぞれのスポットを楽しむことができる。

2) バリアフリー設備の改善

① スロープの設置や改善が必要

大宰府政庁跡は、とりわけ車いすでの移動が困難な個所が多く、バリアフリールートとして、一部の個所を整備する必要がある。

② バリアフリートイレの改善

費用が大きくかかるもので、すぐに改善するには難しいが、トイレ内のユニバーサルシートの設置、オストメイトの温水化、音声案内装置の設置は、多くの観光客を受け入れる上で大事であろう。

3) 混雑緩和にむけて

混雑緩和に向けては、バリアフリールートの提示だけでなく、健常者のルートに＜おもしろいルート＞を具体的に明示するなどが有効ではなかろうか。みんなが一樣にならぶのではなく、体に不自由な方等を優先的に進ませる工夫が必要ではなかろうか。



＜参考：地下鉄博多駅に設置されたレーン＞

左側が優先レーン

右側が思いやりレーン

健常者は右側に並ぶことを想定